

「避難所開設」訓練で学ぶ

柏原・玉手山学園 学生ら270人

柏原市旭ヶ丘3の玉手山学園（江崎 源理事長・学園長）で10日、避難所開設について学ぶ防災訓練があった。園

が運営する関西福祉科学大、関西女子短大、関西福祉科学大学高校の学生や教職員、市内の行政協力委員（自治区長）など約270人が参加した。

災害発生時に迅速かつ適切に避難所開設ができるよう、必要な知識を身につけるのが目的。参加者は市の危機管



理要職員や消防隊員による指導のもと、毛布を担架代わりにして人を運んだり一写真、段ボール製の簡仕切りを組み立てたりした。

関西福祉科学大4年の桜元綾子さんは「雑談とレジ袋とヒモで骨折時の腕つりを作るなど、役立つ体験がで

きた。避難乾燥を目的しており、子供たちの命を守る勉強にもなった」と話した。また、同4年の中望さん(20)は「災害時には『私がします』と率先して動ける人であることが大切と感じた」と訓練を振り返り、気持ちを引き締めていた。 【大庭久光】

河 内